教育社会学Ⅱ

科目ナンバリング　SOC-224
選択　　2単位

井上　義和

1. 授業の概要（ねらい）

後期のテーマは「『路傍の石』を読む――見習職工から独立開業へ」。前期と同じく山本有三『路傍の石』（改版・新潮文庫）をテキストに用いて、戦前の職業世界と勤労青年問題を学ぶ。後期はとくに小説の後半（東京編）から職業と人生にまつわる様々な問題を読み解く。

2. 授業の到達目標

・戦前の職業世界と勤労青年の問題を制度やデータにもとづいて説明することができる。
・登場人物の心理と行動を、背景となる制度や構造と関連づけて説明することができる。
・テキストと授業をふまえて、レポートを作成できる。

3. 成績評価の方法および基準

・平常点（20%）
・小テストや小課題（30%）
・期末レポート（50%）

4. 教科書・参考文献

教科書
山本有三　路傍の石（改版・新潮文庫版）　新潮社

5. 準備学修の内容

・『路傍の石』前半（地元編）は事前に読んでおくこと。
・小説の中の歴史的な出来事や用語について調べてくる宿題を課す。

6. その他履修上の注意事項

・第2回以降の欠席回数が5回を超えた場合、期末レポートを受理しないので注意すること。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション
【第2回】　前期のおさらい⑴――前半（地元編）のあらすじ
【第3回】　前期のおさらい⑵――高等小学校卒業後の進路
【第4回】　後半（東京編）を読む⑴――下宿屋の小僧
【第5回】　後半（東京編）を読む⑵――おともらいかせぎ
【第6回】　後半（東京編）を読む⑶――印刷所と文選見習
【第7回】　後半（東京編）を読む⑷――文選工から社員へ
【第8回】　後半（東京編）を読む⑸――速記者への転職、出版社設立
【第9回】　昭和10年代の時代背景⑴――徒弟制度の揺らぎ
【第10回】　昭和10年代の時代背景⑵――勤労青年不良化問題
【第11回】　昭和10年代の時代背景⑶――資本主義と社会主義
【第12回】　振り返り、期末レポート課題について
【第13回】　期末レポートの進捗報告
【第14回】　期末レポートの提出、発表
【第15回】　期末レポートの講評（※LMSの授業ファイル、およびツイキャスによるラジオ配信）